

令和5年度 不祥事根絶のための行動計画

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

子どもたちは、私たちの姿を見て育ちます。
 使命 私たちは、子どもたちを守り、育てます。
 遵法 私たちは、法令を遵守します。
 公正 私たちは、不祥事を許しません。
 公開 私たちは、地域に開かれた学校にします。

呉市立広中央中学校
 校長 松田 光弘

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	○年間研修計画に基づいた サービス研修であるが、内容を 充実させるなどして当事者 意識をもつことが求められる。	○サービス研修の方法や内容等を見直し、教職 員参加型・体験型の研修を実施する。 ○教職員で分担し、主体的に研修を行う。	○起案等により事前にサービス研修の内容を 検討し、方法や内容等を改善する。 ○自分の周りで不祥事があってもおかし くないという想定で研修に取り組む。	○事後の不祥事防止 委員会で、効果を検証 する。
学校組織としての不 祥事防止体制の確立	○教職員個人の自覚に委ね られている。 ○不祥事防止委員会を機能 化させる。	○教職員間のコミュニケーションをさら に促進し、組織で業務を進める。 ○報告・連絡・相談により、校内の情報を 共有する。	○分掌部や学年部等で互いの業務の進捗 状況を確認し、特定の者に負担がかか らないようチームでサポートする体制をつ くる。	○企画委員会で情報 交換を行い、状況を把 握する。
相談体制の充実	○校内の「体罰、セクシュア ル・ハラスメント相談窓口」 の認知度が低い。	○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相 談窓口」の周知を行う。 ○スクールカウンセラーと連携し、相談体 制を作る。	○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相 談窓口」の周知用掲示物を校内すべての教 室で場所を決めて掲示する。また、学校だ よりやホームページでも周知する。 ○いじめアンケート調査後に、全生徒を対 象に、教育相談（生徒指導、進路指導の観 点）を行う。	○保護者・生徒を対象 としたアンケートを 学期に1回実施する。 ○学期末懇談会で保 護者から意見を聞き 取る。